

令和5年12月18日

インドネシア官民合同委員会結果概要

日時：2023年12月4日(月) 尼時間 09:00-12:00

場所：国家職業資格認証機構(Badan Nasional Sertifikasi Profesi/BNSP)

参加者数：20名

政府(4)： 尼 国家職業資格認証機構(BNSP) (1名)

金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)(1名)

日 厚生労働省 (1名)

在インドネシア大使館 (1名)

JICA(1名)

業界団体(1)：インドネシア金型工業会(IMDIA)(6名)

民間企業(5)：Astra Polytechnic(2名)、PT Denso(2)、PT Ebara(2)

有識者(1)：SESPP 事務局技術顧問

事務局(1)：JTB 霞が関事業部(2名) (別途、日尼通訳1人)

場 所：BNSP2階会議室

1. 今年度の成果(SESPP 事務局、IMDIA)

技能検定

・プラスチック成形2級技能評価者講習(SAT)/技能評価トライアル(SET)/技能評価者認定(SAC)

11月10日、13日～17日、松下ゴーベル財団・ハイテク金型センターにて実施。

結果：受講者7名、7名全員が評価者認定に合格見込。受検者7名、内合格者5名。

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP 事業の最終目標：

技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。

②技能検定・技能競技大会の目標・活動

・技能検定・・・目標：技能検定の定着及び実施職種のレベルアップ

活動：2023年までの事業のフォローアップ(技能評価トライアル、評価者認定)

・技能競技大会・・・目標：技能競技種目のレベルアップ

活動：日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー

技能競技委員の訓練、模擬競技の実施。

③2024年度の事業実施案

・2023年度までの事業のフォローアップ(技能検定)

『機械製図CAD作業2級SAT/SET』

3. 官民合同委員会での主な意見

(1)次年度の支援職種について

- ・厚生労働省からは、機械製図 CAD 作業 2 級のフォローアップの提案をいただいているが、日本の技能検定では 2 次元 CAD を採用しており、理論を学ぶ上では大変重要だが、実際の現場では 3 次元 CAD を活用しているので、2 次元 CAD と 3 次元 CAD を融合した研修の実施をのぞむ(IMDIA 高橋会長)。
- ・機械製図 CAD 作業を実施する場合、実施内容は、IMDIA からの要望を専門家に伝え、協議の上、決めていきたい。ただし、3 次元 CAD を研修に取り入れた場合、技能評価トライアルの試験時間が非常に長くなるという問題がある。(SESPP 事務局)

昨年来は専門家より、機械製図 CAD 作業 2 級の受検者レベルがまだ高くないと指摘されており、実力のあ
る受検者を増やす取り組みを行ってほしい。(SESPP 事務局)

(2)インドネシアにおける技能認定試験の現状(IMDIA:高橋会長)

- ・インドネシアで実施可能な 8 職種を選別して実施している。
- ・機械検査は、製作の現場に必要な要素が全て含まれているので、機械検査を最初に導入した。
- ・技能検定の実施回数を増やすよう政府から要望を受けているが、本来はインドネシア全土で出来るよう体制を整えるべきである。実際には IMDIA という一組織のみで行っている。また、評価者はボランティアに近い形で検定を実施しており、過度な負担がかかっているように思う。

(3)プラスチック成形について(IMDIA:Rudinato 氏)

- ・レベルは Level 3、Level 2、Level 1 の 3 段階があるが、2023 年度は Level 3、2 を実施した。
- ・学科試験は SKKNI(インドネシア国家職業技能適性標準/Standard Kompetensi Kerja Nasional Indonesia)が作成し、実施した。
- ・Level3 は 10 月 16 日～19 日に PT.KMK PLASTICS INDONESIA で、実施し、25 名が受検し、全員が合格した。
- ・プラスチック成形は 2013 年に開始し、合格者の累計は、Level 3 で 117 名、Level 2 は 52 名、Level 1 では 25 名である。Level 1 合格者のなかで、評価者となっているのは、3 名である。

以上